



ファッションショーには市民が飛び入りで参加

外国の文化を楽しむ

国際市民フェスティバル

市内に住む外国人と市民との交流を深めようと、「国際市民フェスティバル」が10月5日、国際文化会館で開催されました。ステージでは色鮮やかな世界各国の民族衣装のファッションショーや外国人の日本語スピーチの発表などが行われました。当日はあいにくの雨でしたが、屋外にはケバブやカレーなど世界の料理の模擬店が立ち並び、来場者でにぎわっていました。「子ども会まつり」も同時開催され、ベーゴマや輪投げ、フェイスペイントなど、子どもから大人まで多くの人を楽しみました。



顔にお化粧をペイント



台本を手に初めての読み合わせ

世代超え 心一つに

演劇ちょこっと体験

演劇を気軽に体験してもらう教室「演劇ちょこっと体験」が9月6日～10月4日に5回にわたり国際文化会館で開催されました。小学生から60代まで19人の参加者が、オリジナル劇「きおくのその」に取り組み、10月12日に国際文化会館大ホールロビーを舞台に発表会が行われました。稽古を重ねるごとに参加者同士、世代を超えた交流が深まり、みんなの心も一つに。参加した小学4年生の児童は、「稽古が毎回とても楽しかった」と発表会の後に達成感を味わった爽やかな表情で話しました。

本格的な音の響きを体験

グランドピアノを一般開放

普段触れる機会のないグランドピアノを多くの人に体験してもらおうと、市役所1階ロビーに設置されているグランドピアノが週に1回程度、正午～午後1時に市民を対象に無料で開放されています。10月2日は野村佳子さんが「ムーン・リバー」「美女と野獣」「海原の小舟」などを演奏。市役所内に響き渡る音色に、ほかの用事で訪れた人たちも足を止めて聞き入っていました。



うっとりとする演奏を披露



撮影依頼に応じてポーズ

参道に溶け込むコスプレ

和かるっちゃ

参道の一部をアニメやゲームなどのキャラクターに扮したコスプレイヤーたちに開放するイベント「和かるっちゃ」が、9月28日に行われました。和装を中心に思い思いの衣装を身にまとい、キャラクターになりきった参加者約114人は、門前の歴史ある街並みを歩いたり写真を撮影したりしました。参加者の1人は「こんなに広い場所が開放されるのは珍しいと思います。参加できて楽しかったです」と話していました。

モロッコ料理に挑戦

世界の料理を楽しむ会

市内に住む外国人から故郷の料理を学ぼうと「世界の料理を楽しむ会」が9月28日、中央公民館で行われました。参加した21人が挑戦したのはモロッコ料理。「ブリワット(モロッコ風春巻き)」「クスクス」「モロッカンサラダ」の3品全てに香辛料の кориアンダーが入るのが特徴です。料理を完成させた参加者は「香辛料が効いておいしい」と満足そうに話していました。



春巻きは正三角形に包んで



全ての料理が完成



ミニSLに乗り思わず笑顔がこぼれる



模型に興味津々の子ども

ミニSLや懐かしの品々を展示

鉄道の日記念イベント

鉄道の日(10月14日)にちなんで「鉄道の日記念イベント」が10月12日、栗山公園で開催されました。会場では、ミニSLの運行、旧国鉄時代の鉄道グッズや写真の展示のほか、輪投げ、ダーツ、草花の無料配布なども

行われました。好天に誘われ訪れた多くの家族連れが、ミニSLに乗車したり、園内に常設展示されているD51の前で写真を撮ったりしたほか、子どもが精巧な模型に見入るなど、思い思いに秋の一日を楽しみました。